

東通原子力発電所温排水影響調査

(海洋生物調査：サケ)

(要約)

相坂 幸二

目的

東北電力東通原子力発電所の温排水が、周辺海域のサケ漁業に与える影響を把握する。

材料と方法

1. 定置網水温観測

平成 25 年 9 月～平成 26 年 1 月に施設周辺海域の定置網に自記式水温計を設置して水温を観測した。

2. 漁獲動向調査

平成 25 年漁期のサケ沿岸漁獲尾数を調べた。

3. 標本船調査

平成 25 年 9 月～平成 26 年 1 月に白糠漁業協同組合所属船 4 隻を標本船とし、日別のサケ入網状況を調べた。

4. 標識放流調査

平成 25 年 10 月 31 日に白糠地先の定置網で採捕されたサケ 30 尾に標識（ロガー+ディスクタグ 15 尾、ディスクタグ 15 尾）を装着し、同水域で放流した。

平成 25 年 11 月 1 日に小田野沢地先の定置網で採捕されたサケ 30 尾に標識（ロガー+ディスクタグ 15 尾、ディスクタグ 15 尾）を装着し、同水域で放流した。

結果

1. 定置網水温観測

9 月の水温は 20.5℃～23.2℃（前年 22.2℃～24.9℃）、10 月は 17.5℃～21.0℃（前年 18.0℃～22.8℃）、11 月は 15.1℃～17.4℃（前年 14.2～18.2℃）、12 月は 11.6℃～15.0℃（前年 10.2℃～13.9℃）、1 月は 8.5℃～11.6℃（前年 8.9℃～10.7℃）であった。

2. 漁獲動向調査

平成 25 年漁期のサケ沿岸漁獲尾数は青森県全域で 114 万尾（前年比 130.9%）、そのうち太平洋側が 80.6 万尾（前年比 130.1%）であった。また、また、白糠漁協と小田野沢漁協の合計値は 16.2 万尾（前年比 145.6%）であった。

3. 標本船調査

日別入網尾数が最大となったのは 11 月 11 日であった。

4. 標識放流調査

標識放流した 60 尾のうち、10 月 30 日放流群が 4 尾、11 月 1 日放流群が 3 尾の合計 7 尾が再捕された。

発表誌：東通原子力発電所温排水影響調査報告書（平成 25 年度第 3 四半期報），平成 26 年，青森県